

課題番号	応募者名	事業名	評価者の主なコメント	評価者のコメントに対する回答
J2005	住友林業株式会社	新築系建設廃棄物トレーサビリティシステムの開発	ある程度の目標達成は出来ており、経営の合理化・企業の社会的責任の観点から社会的貢献度もある。今後の進展も期待できる。	当初の目標は、ある程度クリアすることができたと考えております。今後はさらに検証エリアを広げつつ、事業化へ向けた更なる改善・開発に取り組みたいと考えております。
			写真撮影によるトレーサビリティの有効性に疑問がある。写真の中にその廃棄物の固有コードも写真撮影して、現地でも同様の写真を撮影しておくと同様である事が明確になるのではないか。	排出現場コード・通信カメラID・廃棄物個々のIDなどを紐づけ、管理しておりますので、写真の有効性には配慮しておりますが、ご指摘を参考にさせていただき、更なるトレーサビリティの有効性向上に向けた開発に取り組みたいと考えております。
			画像の安定性に疑問がある。	画像に関しては、廃棄物の確認に足る画質を確保しつつ、インフラ面の負荷とならないよう留意し、安定的に運用いたしております。
			システムの運用コスト(人件費)が明確でなく、普及させるためのインセンティブが小さいのではないか。	人的なコストに関しては、各地域・業者毎の運用状況を勘案し、省力化を図るべく今後の課題とさせていただきたいと考えます。また、各種機器に掛かるコストに関しても併せて課題として取り組みたいと考えております。